

北海道支部

◎第59回大会の開催(報告)

日本英文学会北海道支部第59回大会が、10月25日(土)に、北海道武蔵女子短期大学において開催されました。参加者は約45名でした。多くの方々にご参加頂きありがとうございました。

今大会は一日のみの開催でしたが、計7件の研究発表を始め、道外の著名な研究者による特別講演(岡田禎之氏)、セミナー(遊佐典昭氏)、シンポジウム(丹治愛氏、後藤和彦氏、原田範行氏、阿部公彦氏)を開催し、充実したプログラムとなりました。また、佐々木徹・日本英文学会会長も参加されました。今大会充実のため遠くからお越しくださった方々に心より感謝申し上げます。

◎北海道英語英文学第60号の原稿募集について

詳細は別途発行の「北海道英語英文学第59号」(英文学研究会支部統合号第7巻)の巻末をご参照ください。なお、紙媒体の原稿受付住所が変わります。後述の「2015年度の事務局について」をご確認ください。

◎第60回支部大会について

現在詳細を検討中です。詳細が決定し次第ご連絡致しますので、今しばらくお待ちください。

◎支部役員選挙と役員改選について

2014年度は、2年に1回の支部役員選挙を行いました。選挙管理委員の労を取ってくださった上野誠治氏(北海学園大学)・本城誠二氏(同)、そしてご多忙の時期にご投票くださった会員各位に感謝申し上げます。

開票結果を受け、14名の理事が就任することになりました。ここでは紙幅の都合上、次期支部長・副支部長・本部派遣役員のみを紹介とさせていただきます(その他の役職は、後日支部ウェブサイトに掲載予定)。

支部長：瀬名波栄潤(北海道大学)※本部理事を兼務

副支部長：上野誠治(北海学園大学)

本堂知彦(北海道教育大学札幌校)

◎2015年度の事務局について

このたび、事務局が移動することになりました。2015年度の事務局の所在は以下の通りです。

〒066-8655 千歳市美々758番地65

千歳科学技術大学 総合光科学部(2015年4月から理工学部) 金井彩香研究室内

[TEL/ FAX] 0123-27-6026

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

◎電子メールアドレス登録のお願い

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は、原則として電子メールを通して行っております。まだアドレスを登録されていない会員、及びアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

以上(文責 眞田敬介)

東北支部

◎第69回支部大会開催報告

第69回東北支部大会が、2014年11月29日(土)・30日(日)の両日に、国立大学法人弘前大学との共催で開催されました。のべ参加人数は、二日間で約100名でした。弘前大学との共催で、会員以外にも公開されたシンポジウムには、8名の一般参加者がお来場くださいました。詳細は、東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)からご覧いただけます。

◎支部役員選出

支部役員選挙結果にしたがって、次期理事が選出されました。新支部長は箭川修(東北学院大学)、新副支部長は大河内昌(東北大学)がとめます。詳細は東北支部ホームページをご覧ください。事務局は東北学院大学に置かれ、事務局長を福士航、事務局員を井出達郎がとめます。

◎『東北英文学研究』・東北英文学賞の規程改訂

『東北英文学研究』の投稿規程を一部改訂し、準会員にも投稿資格があることを明文化しました。また、従来は「東北英文学賞」と「東北英文学ベストエッセイ賞」の二部門あった東北英文学賞を、ベストエッセイ賞の一部のみを継続し、その名称を東北英文学賞とすることになりました。詳細は東北支部ホームページをご確認下さい。

◎東北支部研究振興事業の規程改訂

出版助成と講演会の支援について、東北支部の予算規模に見合った形に助成額が減額になりました。詳細は東北支部ホームページをご確認下さい。また、東北支部の研究振興事業の次回応募締切は、2015年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある応募用フォーマットをダウンロードのうえ、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

◎『東北英文学研究』第5号発行および第6号原稿募集

『東北英文学研究』第5号が『英文学研究 支部統合号』第7号に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第6号の原稿を募集しています。締切は2015年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

関東支部

◎理事会報告

2014年10月26日(日)に、上智大学四谷キャンパスにおいて2014年度第2回理事会が開催され、以下の事項が報告、審議されました。

【議事録承認】

【報告事項】

1. 大会準備委員会報告
 - (1) 来年度大会について
 - (2) 委員交代
2. 編集委員会報告
 - (1) 会誌(2014年号)掲載論文について
 - (2) 新年度体制について
 - (3) 懲滯論文について
 - (4) 投稿規定の改

定について (5) 若手奨励賞表彰について

3. 理事選挙開票結果について
4. その他

【審議事項】

1. 理事会推薦による新理事の選出について
2. 新旧合同理事会の開催について
3. 全国大会支部委員の選出
4. その他

2014年11月30日(日)に、成城大学において2014年度第3回理事会が開催され、以下の事項が報告、審議されました。

【議事録承認】

【報告事項】

1. 大会準備委員会報告についての補足
2. 編集委員会報告についての補足
3. 理事選挙開票結果について
4. その他

【審議事項】

1. 新理事会の構成について
 - (1) 支部長、本部選出理事候補、監事候補、副支部長の選出について
 - (2) 事業計画について
2. 掲載論文の電子媒体への記載について
3. その他

◎関東支部第10回大会(2014年度秋季大会)報告

日本英文学会関東支部第10回大会(2014年度秋季大会)が、2014年10月26日(日)、上智大学四谷キャンパスにおいて行われました。プログラムは以下の通りです。

【研究発表】 11:40-12:40

第一会場(11号館320)

解放されない Jurgis : 他者性を再生する *The Jungle* の語り

(発表者)一橋大学大学院 山崎 亮介
(司 会)東京工業大学教授 上西 哲雄

第二会場(11号館326)

Sakiの“The Peace of Mowsle Barton”における「安らぎ」と「静けさ」の表象

(発表者)立教大学大学院 熊谷 めぐみ
(司 会)一橋大学准教授 河野 真太郎

【総会】12:50-13:20 (11号館704)

【特別講演】13:30-14:30 (11号館704)

From public to private epiphanies: Jane Austen,
Mary Wollstonecraft, Edmund Burke and the
spots of time

Lecturer: Professor Janet Todd (University of
Cambridge)

【シンポジウム】14:45 - 16:45 (11号館704)

モダニズム文学と知識人サークル

(司会・講師)首都大学東京准教授 辻 秀雄
(講師)首都大学東京准教授 吉田 朋正
(講師)一橋大学教授 越智 博美
(講師)東京学芸大学教授 大田 信良

【懇親会】17:30 - 19:30 (紀尾井ビル5階第2会
議室)

◎『関東英文学研究』第8号について

『関東英文学研究』第8号の原稿を2015年5月
15日締切で募集いたします。募集要項の詳細
につきましては、日本英文学会関東支部のホーム
ページ、および『関東英文学研究』第7号の巻
末をご覧ください。多数の応募をお待ちいたし
ております。

◎関東支部第11回大会(2015年度秋季大会)に ついて

全国大会の開催が2015年度では東京(立正大
学)となりますことから、関東支部では夏季大
会は開催せず、秋季大会のみを開催いたします。
開催日程および開催場所は未定です。研究発表
／ワークショップの応募締切など詳細について
は、追って日本英文学会関東支部のホームペ
ージにてご連絡いたします。

以上(文責 佐藤光重)

中部支部

◎支部長挨拶

現在支部業務の中心は、2015年度に向けて

の役員の改選や事務局移転のための準備等
です。ここでは、中部支部のこれからについて、
簡単に会員の皆様にお知らせをしておきます。
2015年度から2017年度まで、支部事務局は、
静岡大学・名古屋工業大学が担当致します。こ
れまで事務局は一つの大学が担当してきました
が、会員数の減少もあり、二大学での担当も可
能とします。これにより、より多くの大学が事
務局を担当していただくと期待しています。
2018年度、2019年度は三重大学が、2020年度、
2021年度は椋山女学園大学・岐阜大学が事務
局担当校となります。

2015年度の支部大会は名古屋工業大学で開
催が決定しています。開催校ではすでにシンポ
ジウムの企画等が検討されています。2014年
度同様に多数の研究発表が集まりますように、
会員の皆様にはご準備をお願い致します。今後
の支部大会開催校については、2016年度を富
山大学が、2017年度を福井大学が引き受けて
いただいています。2017年度は全国大会を11
年振りに中部支部で開催することが決まってお
り、静岡大学がその開催校になることを快諾し
ていただいています。中部支部での全国大会は
久しぶりのことですので、次期支部長に内田恵
評議員(静岡大学)を選出し、中部支部全体で
静岡大学を支援できる体制を整備していきま
す。

支部学会誌『中部英文学』への投稿も毎年受け
付けております。詳細については支部HPをご
覧ください。会員の皆様には、今後の研究活動
に上記の年度計画をご参考にしていただき、積
極的なご参加をお願いするものです。

最後になりましたが、支部長としての私の任
期も2014年度で終了致します。今後は一支部
理事として、今年度の経験を糧に支部運営の民
主化及び活性化に尽力致しますので、今後とも
よろしくお願い致します。(松本三枝子)

◎第66回支部大会

2014年10月18日に第66回支部大会が中京大
学名古屋キャンパスにて開催されました。3件
のシンポジウム、22件の研究発表が行われ、盛
会のうちに幕を閉じました。開催校関係者、講
師、発表者、司会者の皆様、会員の皆様、出版
社、書店の皆様にはあらためてお礼申し上げます

す。

講師、発表者の方々には9月に刊行されますプロシーディングズへのご投稿の権利がございますので、原稿をお寄せくださいますようお願いいたします。詳細につきましては4月初旬にご連絡いたします。

今回の支部大会開催につきましては、大幸財団から10万円の助成金を賜ることができました。大幸財団にはこの場をかりてお礼申し上げます。

なお大会当日、支部理事選挙信任投票がなされ、推薦された候補者全員が信任されました。

◎支部総会報告

2014年10月18日に支部総会が開催され、以下の議題について審議されました。なお、総会議事録につきましては支部ホームページに掲載されました。

1. 2014年度の予算案
原案が承認されました。
2. 運営協議会廃止及び拡大理事会等に関する支部規約改正
原案が承認されました。
3. 編集委員会規程改正
原案が若干修正の上、承認されました。
4. 若手研究者のためのトラベルグラント
原案が一部修正の上、承認されました。
5. 次年度支部長及び事務局担当校、支部大会開催校
次期支部長として内田恵氏(静岡大学)が選出され、事務局は2015年度から3年間を、静岡大学・名古屋工業大学が共同で担当することが承認されました。2015年度の支部大会を名古屋工業大学で開催すること、2017年度の全国大会を静岡大学で開催することが了承されました。
6. その他

◎『中部英文学』第35号投稿

『中部英文学』第35号投稿締切は4月10日(金、必着)です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費お支払いをお願いします。奮ってご投稿ください。

◎第67回支部大会

第67回支部大会は10月17日(土)、名古屋工業大学にて開催されます。研究発表応募締切は6月1日(月、必着)です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は速やかに日本英文学会本部事務局と支部事務局にご連絡ください。まだメールアドレスを登録されていない方はぜひご登録をお願いいたします。登録される際は、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願いいたします。

◎訃報

2013年より編集委員として支部活動にご活躍くださっておりました木原貴子氏(共立女子大学)が、2014年10月20日に逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

関西支部

◎関西支部第9回大会について

2014年12月21日(日)11:00より、関西支部第9回大会が立命館大学衣笠キャンパスにて開催され、4件の招待発表を含む23件の研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。天候にも恵まれて約200名の参加者を数え、懇親会にもおよそ100名の出席者を得て盛会裏に終わりました。

大会準備にご尽力くださった学会関係者の皆様、および会場を提供くださった立命館大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

◎役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、支部長から支部理事選挙および支部長選挙の結果についての説明、大会準備委員長と機関誌編集委員長からそれぞれ事業報告があったほか、会計報告案が承認され、第10回大会の開催校に武庫川女子大学が選出されました。また、総会では以上の件について報告がなされました。

◎次期支部長について

2014年9月から11月にかけて支部理事選挙を行いました。その結果、10名の次期支部理事が選ばれ、その10名の互選により次期支部長として小澤博氏が選出(再任)されました。

◎機関誌第9号の投稿について

『関西英文学研究』第9号の投稿締切は4月末日です。特にキャリアの浅い研究者による優れた論文には奨励賞が与えられるので、奮ってご投稿ください。

◎関西支部第10回大会の研究発表の応募について

関西支部第10回大会は、2015年12月20日(日)(仮)に武庫川女子大学で開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

中国四国支部

◎中国四国支部第67回大会報告

平成26年10月25日(土)、26日(日)の両日、香川大学(高松市)において中国四国支部第67回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。田村道美氏、田多良俊樹氏、岩中貴裕氏、山内玲氏をはじめとする開催校の関係者の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(25日)は、新田玲子支部長による開会の辞に始まった開会式の後、研究発表、特別講演が行われ、晩には懇親会が開催されました。

研究発表は、英語学関係6編、イギリス文学関係4編、アメリカ文学関係1編、ハーン関係2編、英語教育関係3編の計16編が行われました。また、福安勝則氏(鳥取大学教授)「記述の対格」再考—“NP the N 構文”について—(司会：高知大学准教授 松原史典氏)の招待発表が行われました。特別講演は、山梨正明氏(関西外国語大学教授)による「認知言語学と英語教育—新たな知の探求—」(司会：広島大学教授 中尾佳行氏)がありました。特別講演の後、学内の「バーカリーカフェ ソラミ」にて岩中貴裕氏の司会のもと、さぬきうどんや地元の酒肴に舌鼓を打ちながら、懇親会を催すことができました。多数のご参加どうもありがとうございました。

第2日目(26日)は、安田女子大学准教授のTras A. Sak氏(司会・講師)の主導のもと、三重野佳子氏(別府大学教授)、栗原武士氏(県立広島大学講師)、勝井伸子氏(奈良県立医科大学講師)によるマラマッド生誕100年を記念したシンポジウム“Malamud@100: Reflecting on his Work, Legacy, and Relevance”(使用言語：英語)がありました。シンポジウムの最後にはArlene Heyman氏による貴重なマラマッドとの交流の回想がありました。そのあと、高橋渡副支部長の閉式の辞をもちまして全日程を終了しました。

本大会も昨年度に引き続き開催校(香川大学)のご協力により保育室を設置することができました。

◎理事会報告

支部第67回大会に先立ち、10月25日の午前中に理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

今林事務局長が平成25年度決算報告(支部事務局と編集委員会)を行い、会計監査(水野和穂氏、小野章氏)により正確に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 次期開催校

平成27年度の第68回大会は、10月24日(土)・25日(日)に、広島修道大学(開催校責任者：水野和穂氏)で開催されることが承認されました。

◎支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、今林 修、大地真介、大野英志、高橋 渡、地村彰之、中尾佳行、新田玲子、前田一平、宮崎隆義、吉中孝志(敬称略、五十音順)の10名が新理事に選出されました。

理事会終了後、すぐに上記10名の新理事による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部規約」第五条2項に則り、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮し、太田 聡、小野 章、加藤好文、栗原武士、中川 憲(学会誌編集委員長：在任中)、福安勝則、水野和穂、藤吉清次郎、前田一平、山内 玲、脇本恭子、渡部知美(敬称略、五十音順)を新理事に追加選出しました。

◎新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、高橋 渡氏(県立広島大学)が次期支部長に選出されました。
2. 支部規約に則り、次の役員が選出されました。(敬称略)
 - ・ 副支部長：吉中孝志(広島大学)
 - ・ 事務局長：栗原武士(県立広島大学)
 - ・ 事務局長補佐：島 克也(島根大学)
 - ・ 会計監査：水野和穂(広島修道大学)、小野 章(広島大学)
 - ・ 学会誌編集委員長：中川 憲(安田女子大学：在任中)
 - ・ 選挙管理委員長：福元広二(広島修道大学)
 - ・ 選挙管理委員：田多良俊樹(安田女子大学)、西原貴之(県立広島大学)
3. 各県の推薦制代表者が選出されました。(敬称略)
 - ・ 鳥取：福安勝則(鳥取大学)
 - ・ 島根：渡部知美(島根大学)
 - ・ 岡山：脇本恭子(岡山大学)
 - ・ 広島：地村彰之(広島大学)
 - ・ 山口：太田 聡(山口大学)
 - ・ 香川：山内 玲(香川大学)
 - ・ 徳島：宮崎隆義(徳島大学)
 - ・ 高知：藤吉清次郎(高知大学)
 - ・ 愛媛：加藤好文(愛媛大学)

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

平成27年度の第68回大会は、10月24日(土)・25日(日)の両日、広島修道大学で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(必着)です。たくさんのご応募お待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第12号(英文学研究支部統合号第8号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/phoenix/chusi-eng/studies.html>)をご覧ください。

以上(文責：新田玲子)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第67回大会が2014年10月25日(土)、26日(日)の両日に福岡女子大学にて開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただいた、向井毅、徳永紀美子、宮川美佐子、村長祥子、田上優子諸先生方を初めとする関係者、及び、学生の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

◎2014年度第2回支部編集委員会が2013年10月25日(土)に開催されました。その後、支部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。詳細な議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第30号(支部統合号 Vol. VI)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第31号(支部統合号 Vol. VII)について
3. 支部大会統合プロシーディングズについて
4. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
 - ・ 「優秀論文賞」は、該当者なし。「奨励賞論文」は、国崎倫氏(九州国際大学法学部助教)「『ハムレット』におけるモグラ表象」に決定し、支部大会開会式で表彰され、支部長よ

り賞状と副賞(2万円)が授与された。

5. 「優秀論文賞」、「奨励賞」の表彰状の書式等について
6. 編集委員長と副編集委員長の交代と任期について
 - ・次期編集委員長には、イギリス文学領域の鶴飼信光氏(九州大学文学部教授)が選出された。副編集委員長には、アメリカ文学領域の小谷耕二氏(九州大学教授)と、英語学領域の山田英二氏(福岡大学教授)が選出された。
 - ・任期の改正について、編集委員長、副編集委員長および編集委員の任期は、支部長と同じく、当該年の4月1日から2年とすることが承認された(再任可)。また、現編集委員の任期は2015年3月31日までとする。
7. 「招待発表者」について
 - ・来年度からもこの制度を持続する。原則として各分野一人ずつとし、人選は、支部長と編集委員長及び副編集委員長で相談して決める。招待発表者の発表は、編集委員が聞きに行き、内容を確認した上で、『九州英文学研究』への投稿を慫慂するかどうかを編集委員会に諮ることが確認された。
8. その他
 - ・『九州英文学研究』への投稿論文の枚数制限に関して、内容・分野によっては制限を緩和するかどうか問題提起され、次期事務局で対応を検討し提案されることになった。

《評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告
2. 会計報告
 - ・事務局長の難波美和子氏より、平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)支部会計報告が行われ、監査の宮川美佐子氏(福岡女子大学准教授)から確認の報告があった。
 - ・事務局長の難波美和子氏より、平成27年度予算案が提案され、承認された。
 - ・支部会員以外および他支部からの準会員のシンポジウム・パネリストには、謝金として3万円を支払うことが再確認の上で、承認された。シンポジウム・パネリストと特別講演者を懇親会にも招待することが確認

された。

3. 統合号出版経費負担について
4. 支部理事選挙について
 - ・支部規約を改め、郵送のみによる投票にすることが承認された。
5. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
6. 支部事務局の交替・新支部長の選出について
 - ・平成27年4月1日より2年間、九州大学文学部が事務局担当、支部長は西岡宣明氏に内定した。
7. 支部選出本部理事・評議員の選出について
 - ・本部理事は、支部長の西岡宣明氏(九州大学文学部教授)に内定、本部評議員は、鶴飼信光氏が継続して務める。
8. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
 - ・全国大会は立正大学、支部大会は佐賀大学で開催することが報告された。
9. 支部規約の一部改定について

◎次期理事について

- ・支部理事選挙を実施した結果、以下の方々を選出されました。任期は、2015年4月1日～2017年3月31日までの2年間です。(50音順)鶴飼信光(九州大学教授)、太田一昭(九州大学教授)、大島由起子(福岡大学教授)、大橋浩(九州大学教授)、木下善貞(北九州市立大学名誉教授)、小林潤二(鹿児島国際大学教授)、高野泰志(九州大学准教授)、高橋勤(九州大学教授)、竹内勝徳(鹿児島大学教授)、登田龍彦(熊本大学教授)、西岡宣明(九州大学教授)、早瀬博範(佐賀大学教授)、向井毅(福岡女子大学教授)、村里好俊(熊本県立大学教授)、山田英二(福岡大学教授)

- ・九州支部ホームページ・アドレス

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

以上(文責 村里好俊)